

1章 はじめに

1. 計画作成の意義

オホーツク地域は、第五次全国総合開発計画や新たな北海道総合開発計画において、地域産業・技術の高度化、スポーツ強化地域の形成のほか流水など、特色ある気候や自然を活かし、学術、スポーツ、観光等の多彩な活動の場の形成を図る地域として位置付けられている。

また、新・北海道総合計画において、オホーツク北網地域を構成する北見市、網走市の2市は中核都市または中核都市群の構成団体として位置付けられており、すそ野の広い産業が展開し、のびやかな暮らしが人々を招くオホーツク圏の発展を牽引する役割を担っている。

本計画は、こうした背景を踏まえて、構成市町が一体となって都市機能を向上させることにより、オホーツク圏全体の振興と活性化を図るとともに、オホーツク海沿岸域におけるフロントエリアとしての地理的条件を活かし、環オホーツク海圏をリードする国内における拠点を形成し、自立的かつ持続的発展可能な地方拠点都市地域の形成を図ることを目的として策定するものである。

2. 計画の名称と性格

本計画の名称は、「オホーツク北網地方拠点都市地域基本計画」とする。

この計画は、オホーツク北網地域をとりまく社会、経済、文化等の諸環境の変化やオホーツク圏全体における役割・波及効果を考慮しながら、長期的展望にたったオホーツク北網地域の将来像を具現化していくため必要な広域的・総合的な施策を体系的に定めるものである。

3. 計画期間

本計画は、平成26年度から平成35年度までのおおむね10年間を計画期間とする。

1章 はじめに

4. 地方拠点都市地域の名称等

(1) 地方拠点都市地域の名称

オホーツク北網拠点都市地域

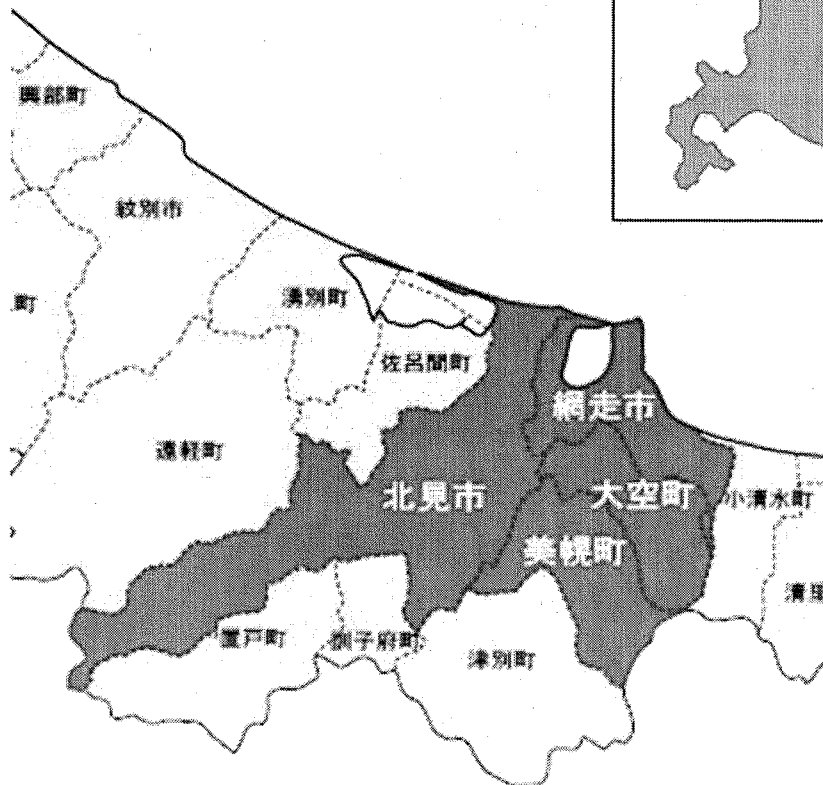
(2) 構成

北見市、網走市、美幌町、大空町の2市2町

(3) 中心都市

北見市、網走市

計画区域図



本地域の位置

